

(社)全日本鍼灸学会

平成 20 年度 第 4 回理事会 会議議事録

I. 開催の日時及び場所

日 時：平成 21 年 2 月 1 日(日) 午後 1 時～5 時

場 所：日本鍼灸会館 4 階会議室（東京都豊島区南大塚 3-44-14）

II. 出席者

定足数の確認：理事総数	20 人
出席理事	17 人
欠席理事	3 人（篠原昭二、杉山誠一、山下仁）
委任者	3 人（篠原昭二、杉山誠一、山下仁）
計	20 人
出席監事	1 人（宮本俊和）
出席参与	1 人（形井秀一）

議事録署名人：若山育郎、高澤直美

書 記：菅原之人、大久保淳子、波田康

III. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長	福村 昭
挨 拶：会 長	後藤 修司
議 長：会 長	後藤 修司

議事に先立ち、後藤修司会長から挨拶があった。

【審議事項】

1. 平成 21 年度各部事業計画案・修正予算案の検討

小川卓良副会長より平成 21 年度収支予算案に基づき説明があった。国際シンポジウム、認定委員会、高木賞の予算を特別会計に計上することとし、再度修正した予算案を作成、3 月の理事会・評議委員会に諮ることとした。

また、積立金取崩しについては従来理事会で審議を行っていたが、その取り決めに関する内規は文章化されていなかったため、今回「積立金取り崩しに関する内規」を作成した旨、説明があった。この内規について資料に基づき説明があり承認された。

2. 平成 21 年度認定委員会事業計画案・修正予算案の検討

福村昭認定委員会事務局長より修正予算案について説明があった。従来の支部活動助成費（1 支部あたり 3 万円）は削除し、講師料・交通費として 1 支部あたり 25 万円（北海道を含む 7 支部）を支給することで承認された。

3. JCB カード会員入会拒否対応への再検討

安雲和四郎組織部長より JCB カード会員入会拒否対応に関する再検討事項について説明があった。クレジット機能がない代替会員証の発行について審議した結果、代替カードは作成せず、JCB カードを持っている人へのメリットを設けること事です承された。メリットとしては年会費の差別化や学術大会の参加費割引など、具体的な内容を今後の審議事項とした。

また、入会希望者に対してはメリットを説明し、カードへの加入を要請するが、その上で加入を拒否した場合でも入会を許可する事です承された。

4. 定款等改正検討委員会報告

小川卓良副会長より資料に基づき説明があった。

- 1) 定款改正案
新公益法人移行に伴いその認定を受ける2年～3年後までには改正の必要があるため、監督省庁となる総務省の指導要綱を参考に後日の委員会で審議することとした。
- 2) 定款施行細則
定款改正の関連から改正の必要が生じるので、定款改正と同様に後日委員会で審議することとした。
- 3) 役員選任規程
資料に基づきの改正案について説明があった。
- 4) 支部運営委員会規程
資料に基づき改正案について説明があった。
- 5) 支部設置規程
支部設置規程・支部運営規定に変わるものとして支部運営委員会規程を充てることとした。これにより支部設置に関する審議は支部運営委員会において行い、理事会に諮ることとした。
- 6) 評議員選任規程
条文の審議と共に評議員の選出実務について確認の結果、平成21年3月の評議員会に向けて、1号評議員の立候補告示をハガキにて通知することとなった。また、資料に基づき理事会選出の2号評議員候補者について審議し、全て候補者が承認された。

5. 第59回大阪大会企画案

安藤文紀実行委員長より資料に基づき説明があった。大会会長を伊藤壽記氏、実行委員長を安藤文紀氏とする。また、準備委員会を設置して検討を行い、次のとおり進めていくこととなった。

- 1) 大会日程等について
大会日程 平成22年6月11日(金)～13日(日)
場 所 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
- 2) 大会テーマについて
統合医療と鍼灸ーさらなるQOLの向上を目指してー
- 3) 大会予算(案)について
別紙に基づき説明があった。
- 4) その他
カード会員に対しての割引については、JCBと運用について相談していくこととし、広報活動についても広報部と連携して進めていくことで承認された。

6. 明治東洋医学院創立85周年記念論文公募の掲載依頼について

野口栄太郎編集部長より資料に基づき説明があった。学術的な内容のため、広告ではなく編集部からの「お知らせ」として扱うこととした。掲載は2・5・8月の3号とし、掲載サイズについては編集部に一任することで承認された。

7. その他

- 1) 学術大会開催時における「卒後まもない鍼灸師」を対象とした研修会について
北小路博司学術部長から資料に基づき説明があった。研修会の開催の是非について審議し、今後開催する方向で企画していくこととした。具体的な研修内容については鍼灸医療推進研究会および財団法人東洋療法研修試験財団と連携し、今後検討していくことで承認された。
- 2) 第15回国際東洋医学会について
後藤修司会長より説明があった。第15回国際東洋医学会において鍼灸のセッションを企画しており、学会の協力を要請された。学会として協力していくことで承認された。

以上、すべての議案について承認された。

【報告事項】

1. 各部中間報告（平成 20 年 10 月～12 月）

1) 総務

福村昭事務局長より資料に基づき報告があった。

2) 組織部

安雲和四郎組織部長より資料に基づき報告があった。

3) 学術部

北小路博司学術部長より資料に基づいて報告があった。

4) 研究部

川喜田健司研究部長より資料に基づき報告があった。

5) 編集部

野口栄太郎編集部長より資料に基づき報告があった。

6) 国際部

若山育郎国際部長より資料に基づき報告があった。

7) 広報部

金井正博広報部長より資料に基づき報告があった。

2. 認定委員会報告

福村昭認定委員会事務局長より資料に基づき報告があった。

3. 国際シンポジウム委員会報告

若山育郎国際部長より資料に基づき報告があった。

4. 本部会計監査報告

宮本俊和監事より報告があった。会計作業が途中経過のため、3月の理事会までに再監査し最終報告とする旨の説明があった。

5. 全日本鍼灸学会の発展を願う会と文科省との対応経過

福村昭事務局長より報告があった。

6. 新公益法人化に向けての取り組み

福村昭事務局長より報告があった。

7. 第58回埼玉大会準備報告

小俣実行委員長より資料に基づき報告があった。理事会等の時間変更を行い、6月11日（木）の理事会を16:00～18:00とし、呉竹医療専門学校にて開催することとなった。また、6月14日（日）の支部運営委員会を12:00～13:00とし、その他は資料通りとした。学会参加費の徴収は銀行振込みで行うこととなった。

8. その他

形井秀一参与より資料に基づき、シングルユース鍼標準化の動きについて報告があった。学会としてはJIS規格を堅持する姿勢で今後も臨むことで了承された。

以上をもって平成20年度第4回理事会の議事を全て終了した。